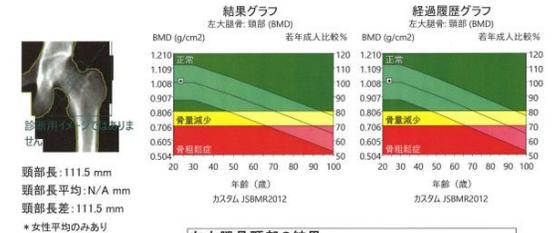


# 当院で可能な骨密度・体組成検査

## 骨密度測定

当院では、「骨粗しょう症の予防と治療ガイドライン」で推奨されている2重エネルギーX線吸収（DXA）法を用いて、腰椎と大腿骨の骨密度を測定します。骨密度値は、単位面積(cm<sup>2</sup>)あたりの骨量(g)として算出されます（単位：g/cm<sup>2</sup>）。若年成人データ（腰椎の場合は20-44歳、大腿骨近位部の場合は20-29歳）との比較、同年齢データとの比較で評価します。



頸部 BMD	1.018 g/cm <sup>2</sup>
頸部 若年成人比較%	101 %
頸部 同年齢比較%	101 %

部位	BMD (g/cm <sup>2</sup> )	若年成人比較 %	同年齢比較 %	Zスコア	骨量 (BMC)	骨面積 (Area)
頸部	1.018 g/cm <sup>2</sup>	101 %	101 %	0.1	5.80 g	5.70 cm <sup>2</sup>
ワード三角	1.042 g/cm <sup>2</sup>	-	-	-	3.75 g	3.60 cm <sup>2</sup>
大転子	0.861 g/cm <sup>2</sup>	-	-	-	11.17 g	12.98 cm <sup>2</sup>
シャフト	1.322 g/cm <sup>2</sup>	-	-	-	21.74 g	16.44 cm <sup>2</sup>
全体	1.102 g/cm <sup>2</sup>	105 %	105 %	0.4	38.72 g	35.12 cm <sup>2</sup>

測定日	年齢	BMD	トレンド: 頸部			
			前回BMD比較 異変	% 変化	若年成人比較 %	同年齢比較 %
2020/08/18	23.6	1.018 g/cm <sup>2</sup>	-	-	101 %	101 %

強度指標	BR	SM	CSMI	CSA	d1	d2	d3	y	alpha	theta
1.8	5.7	810.3	15,672 mm <sup>4</sup>	176	17.4 mm	50.8	38.0 mm	19.3 mm	2 *	125

あなたの今回の測定結果(若年成人比較)

腰椎の骨密度は **105 %** です。

股関節の骨密度は **101 %** です。

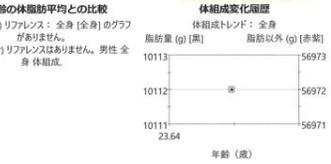
=判定基準=

**正 常**: 若年成人の80%以上  
**骨量減少**: 若年成人の70%~80%  
**骨粗しょう症**: 若年成人の70%以下



### <体組成結果>

右腕		左腕	
脂肪量	540 g	脂肪量	524 g
筋肉量	3,122 g	筋肉量	2,981 g
おしり		おなか	
脂肪量	1,534 g	脂肪量	499 g
脂肪率	15.1 %	脂肪率	12.8 %
右足		左足	
脂肪量	1,623 g	脂肪量	1,797 g
筋肉量	9,006 g	筋肉量	9,855 g



あなたのBMIは **24.1 kg/m<sup>2</sup>**です。  
 あなたの体脂肪率は **15.7 %**です。  
 あなたの骨格筋量指数は **8.34 kg/m<sup>2</sup>**です。  
 \*骨格筋量指数は、男性で7.0以上、女性で5.4以上必要です。

測定日	年齢	軟部組織脂肪	部位脂肪	脂肪量	非脂肪量	総重量	骨格筋量指数	BMI
2020/08/18	23.6	15.7 %	15.1 %	10,112 g	54,203 g	67.1 kg	8.34	24.1

## 体組成測定 (体組成のみの測定はできません。骨密度測定も同時に行います。)

2重エネルギーX線吸収（DXA）法を用いることで、骨密度だけでなく、体組成を測定することもできます。微量なX線を全身に照射することで全身の脂肪や骨・筋肉の量とその分布を測定することができます。DXA法は精度が高く、被ばく量が少ないため、スクリーニング検査に適しています。